

### 3 財団法人かながわ廃棄物処理事業団の経営改善検討委員会の審議状況について

(財)かながわ廃棄物処理事業団の経営改善の推進及び急激な社会経済環境の変化を踏まえた適切な対応を図るため、専門的な視点からの検討を行うことを目的に設置されました、標記検討委員会が次のとおり開催されましたのでご報告いたします。

- **開催日時** 平成 21 年 2 月 26 日（木曜日）午前 10:00～12:00
- **開催場所** 神奈川県庁新庁舎 5 階 5 C 会議室
- **出席者名**

出席者	欠席者
石川恵美子（弁護士） 大塚 元一（前社団法人全国産業廃棄物連合会専務理事） 岡本由美子（公認会計士） 柴田 悟一（横浜商科大学教授・横浜市立大学名誉教授） 藤吉 秀昭（財団法人日本環境衛生センター常務理事）	大久保敏治 （社団法人神奈川県経済同友会顧問）

※ 敬称略

- **会議の議題**
  - 議題 1 検討委員会の検討内容、進め方等について
  - 議題 2 事業団の事業概要、運営状況等について
- **会議の結果**
  - 議題 1 検討委員会の検討内容、進め方等について
    - ◆ 柴田委員を会長に、大塚委員を副会長に選出。
    - ◆ 経営改善計画の進捗状況の検証及び計画に掲げた取組の強化・充実策の検討等について今後審議することを確認した。
  - 議題 2 事業団の事業概要、運営状況等について
    - ◆ 事業団の事業概要、運営状況、経営改善計画について委員の質問、意見等を受けた。
- **委員の主な意見**

- ・ 県営最終処分場から変更となる、横浜市の南本牧最終処分場や川崎市の浮島最終処分場の受け入れ容量について
- ・ 搬入見込量を 38,000 トンとした根拠について
- ・ 搬入量確保のための取組について
- ・ 阪神淡路大震災を経験したが、市民生活の再建には、災害廃棄物の早期撤去が不可欠であり、焼却施設と最終処分場が重要である。
- ・ 焼却については、やむを得ず、野焼きや排ガス装置のない簡易焼却炉で対応したが、いざというときの備えにこのような公的施設が重要である。

#### ■ 次回開催予定

平成 21 年 3 月 26 日（木曜日）

※ かながわクリーンセンターの視察を兼ねて事業団で開催予定